

越境対馬 2025 参加者募集のお知らせ

対馬を知っていますか？「国境の島」と呼ばれる対馬は、九州と朝鮮半島との間に浮かぶ「離島」で、釜山から約 50km、博多からは約 140km の距離にあります。九州よりも半島の方が近いという地理的特性から、古来より日本列島と朝鮮半島の交流の窓口としての役割を担ってきました。さらに 25 年前に釜山との間に定期航路が開設されたことで韓国からの観光客が増え続け、2018 年には人口 3 万人のこの島に年間 40 万人もの韓国人観光客が訪れる状況になりました。このことは人口減少に喘ぎ、公共事業に依存する過疎の島に多大なる経済的恩恵をもたらした一方で、文化摩擦をめぐる問題などから島の地域社会に大きな影響を及ぼしました。そして 2019 年夏からの日韓関係の悪化により韓国人観光客が激減し、さらに新型コロナウイルスの世界的な蔓延により「国境」は閉ざされました。2023 年 2 月に釜山—対馬航路は再開し、現在では、かつてのオーバー・ツーリズムの反省を踏まえた新たな「国境離島」振興が模索されています。

さて、「越境対馬」はこのような興味深い島を舞台に、2015 年度から毎年行ってきたプログラムです。まず韓国に入り、釜山から船で対馬に渡って滞在し、そして福岡に抜けるという「越境」を通して、古代からの境界を越えた交流の経路をたどります。そして対馬では民泊することで島の生活を体験し、島民の方々の意識に直接迫ります。これらを通して、「国境」について国家レベルの認識と《国境離島》の地域住民からの視点を交叉させ、単純な二項対立から脱して理解することを目指しています。

「越境対馬」の活動は、多くの関係者の協力の下で行っています。韓国の高麗大学の学生とは「歴史対話」を継続的に実施しており、今年は渥美国際交流財団の支援の下、最終目的地の福岡で「歴史対話」を開催する予定です。また東京科学大学（旧東工大）の坂村研究室とも連携しており、昨年是一緒に活動し、民泊も含めて 1 週間にわたって寝食を共にしました。

日本に住んでいてもほとんどの人が生涯に一度も訪れることのない対馬を、自分のフィールドにしてみませんか？

1. 活動内容

- ・韓国・対馬・福岡への巡検

※8 月上旬～中旬にかけて、7 泊 8 日程度

- ・領土・主権展示館（東京）と独島体験館（ソウル）の訪問
- ・日韓の高校生・大学生による「歴史対話」
- ・東京科学大（旧東工大）の坂村研究室での活動

2. 担当教員とサポート態勢

柿沼亮介（日本史）、秋山和広（生物）

※他に学院出身の大学生・大学院生、東京工業大学や高麗大学の教員などがサポートする。

3. 募集人数

15名程度（高3総合「越境対馬」の受講生を含む）

4. 選考方法

説明会にて指示する所定の課題に基づいて選考する

5. 説明会

日時：2025年4月17日（木）12:40～13:00

場所：72号館1階 社会科教室

※参加希望者は、必ず説明会に出席すること。

6. 問い合わせ先

地歴科 柿沼亮介 hanno-kackey@waseda.jp

【参考】2024年の行程

7/31	成田空港→ソウル・仁川空港	高麗大学校において「歴史対話」と交流会	ソウル泊
8/1	独島体験館	KTX ソウル→釜山 釜山散策	釜山泊
8/2	釜山港→対馬・比田勝港	比田勝での韓国人観光客へのアンケート調査 比田勝の商店・飲食店・宿泊業者からの聞き取り調査	上対馬泊（民泊）
8/3	和多都美神社	姫神山砲台／深浦水雷艇隊基地跡 NPO 法人朝鮮通信使縁地連絡協議会前会長・名誉会長 松原一征氏からの聞き取り 対馬博物館 朝鮮通信使歴史館	豆酲・内山泊（民泊）
8/4	賀谷藻場保全会／環境省ツシマヤマネコ野生順化ステーション	厳原みなと祭（朝鮮通信使の行列）の見学	豆酲・内山泊（民泊）
8/5	金田城	浅茅湾でのシーカヤック	豆酲泊（民宿）
8/6	対馬市観光商工課・対馬観光物産協会からの聞き取り	厳原港→博多港 博多港国際ターミナルの見学 博多散策	博多泊
8/7	九州国立博物館 太宰府天満宮 大宰府政庁跡 水城跡	博多にて解散	

※2015年度から始まった「越境対馬」の10年間の活動内容や意義については、柿沼亮介「《国境離島》を舞台とした教育の可能性 ―「越境対馬」十年のあゆみ―」（『早稲田大学高等学院 研究年誌』69、2025）を参照されたい。

☆自ら研究テーマを設定し、主体的に活動できる諸君の参加を待っています。